

本と人との出会いをつくる書評ゲーム、ビブリオバトル  
**2月11日(金・祝)、小田原市立小田原駅東口図書館で初開催**  
～ 寅年にちなんで本のテーマは「猫」～

株式会社有隣堂（本社：神奈川県横浜市 代表取締役社長：松信 健太郎）は、2020年6月1日より指定管理運営を務める小田原市立小田原駅東口図書館にて、「ビブリオバトル in 東口図書館」を初開催いたします。

ビブリオバトルは、「本を通して人を知る 人を通して本を知る」をキャッチコピーに、全国の学校や図書館、書店やカフェなどで手軽に親しまれている書評ゲームです。当社のビブリオバトルは、読者の裾野を広げる読書推進活動として、2013年4月以来、86回を数え、本と人との出会いを創り、ビブリオバトル普及委員会主催「Bibliobattle of the Year 2017」大賞を受賞しました。今回は、2022年の寅年にちなみ、本のテーマを「猫」として参加者を募り、小田原地域の人々の交流の輪を広げてまいります。



#### ■ 開催概要

##### イベント名称 「あなたの一票がチャンプ本を決める！ビブリオバトル in 東口図書館」

ビブリオバトルは、バトラーと呼ばれる発表者が、おすすめの本を紹介しあい、参加者全員の投票で「チャンプ本(一番読みたくなった本)」を決定するゲームです。

【日時】 2月11日(金・祝) 午後2時から午後4時 【場所】 小田原駅東口図書館

本のテーマ 第1ゲーム：猫 第2ゲーム：フリーテーマ

【定員】 バトラー：各ゲーム先着4人 観覧者：先着20人

【申込】 図書館総合カウンターまたは電話（0465-20-5577）にて、1月17日(月)より受付中

#### ■ 図書館のコンセプト：「アクセスしやすい出会う図書館」

小田原駅東口図書館は、万葉倶楽部株式会社が運営する小田原駅隣接の広域交流施設「ミナカ小田原」6階に開館し、利便性の高い「駅前の図書館」です。幅広い世代の方へサービスを提供することを通して、小田原市民の皆様、在学・在勤の方々、観光に訪れる方々とのつながりや交流を深め、本、人、地域との新しい出会いを創出いたします。

#### 基本情報

- 名称／ 小田原市立小田原駅東口図書館 ● 統括責任者／ 青柳 明人
- 住所／ 〒250-0011 小田原市栄町 1-1-15 ミナカ小田原 6階 ● TEL／ 0465(20)5577
- 面積／ 図書館エリア 1,332㎡ ● 蔵書収容可能数／ 約8万冊
- 開館時間／ 平日9時～21時 土日祝9時～18時 ● 休館／ 第4月曜、12/28～1/3、特別整理期間（年7日以内）
- 指定管理者／ ゆうりん・おだたんグループ ● ホームページ／ <https://ohigashi-lib.jp/> ● 公式ツイッター／ @ohigashi\_lib

## 有隣堂のビブリオバトルご紹介



### 1：ビブリオバトルとは？

2007年、京都大学の研究室での勉強会を発端に「イ本に出来る仕組み」はないものかと考案された、オススメ本を紹介しあうコミュニケーションゲームです。性別・世代や職種を問わず、どなたも気軽に楽しむことができます。「本を通して人を知る、人を通して本を知る」というキャッチコピーのもとに日本全国に取り組みが広がっています。

#### 【公式ルール】

1. 発表参加者が読んで面白かった本を持って集まる。
2. 順番に一人5分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
4. 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

ビブリオバトル普及委員会公式 HP (<http://www.bibliobattle.jp/>)

### 2：有隣堂のビブリオバトル

2013年「ビブリオバトル in 有隣堂」と題してスタートしました。当社独自の読書推進活動として、本拠地・神奈川県内を中心に各所でユニークな企画を盛り込みながら開催を続け、「ゆるく、楽しく」をモットーに、本からつながる交流の輪を広げています。また図書館や学校などでの開催支援や体験会を通して、読者の裾野を広げる地道な草の根運動も続けています。本が好きな方はもちろん、そうでない方にも「面白かった！また来たい！」と思って頂ける場作りに励んでいます。

#### 【Bibliobattle of the Year 2017 大賞 受賞！】

ビブリオバトル普及委員会が、全国的な活動の活発化を目的に設けている表彰制度「Bibliobattle of the Year」において、有隣堂が2017年度の大賞に選ばれました。

これまで80回を超える開催(2022年1月時点)を通し、ファンとの交流、様々な機関との連携、本と文房具や本とアイドルなど画期的なコラボ企画を実施するなど、ビブリオバトルの可能性を拡げつづける活動が高く評価されました。

★有隣堂ホームページ：最新の開催情報をご覧ください。

<http://www.yurindo.co.jp/storeguide/24993>

★「ビブリオバトル in 有隣堂」：Facebook ページ

開催情報や、ゲームの様子を随時発信しています。

<https://www.facebook.com/BibliobattleinYurindo>

★公式ブログ「本の泉」：開催レポートをご覧ください。

[http://www.yurindo-izumiblog.jp/archives/cat\\_943712.html](http://www.yurindo-izumiblog.jp/archives/cat_943712.html)

